

令和7年度 豊川市観光振興推進委員会 議事録

1 日時 令和7年7月1日（火）10時00分～11時30分

2 会場 豊川市役所 本34会議室

3 議題

(1) 豊川市観光振興推進計画の進捗状況について

4 出席者

【観光振興推進委員】

溝口委員、小川委員、岡田委員、青山委員、波多野委員、山本委員、
加藤委員、平賀委員、笹木原委員、木和田委員

【事務局（商工観光課・観光協会）】

鎌田、望月、佐野、滝川、秋山

5 会議の公開の可否

公開

6 傍聴者数

1名

7 会議内容

・あいさつ（産業環境部長）
（略）

・委員等紹介
（略）

・議事（1）『豊川市観光振興推進計画の進捗状況について』

【委員長】

それでは、議事（1）『豊川市観光振興推進計画の進捗状況について』、事務局より説明願います。

【事務局】資料1～7について説明

【委員長】それでは資料5の基本方針1から4の進捗状況について、ご意見を頂戴したいと思います。

【委員】合宿の関係です。宿泊予約をした方の中には対象の施設利用がいっぱい、宿泊をキャンセルする団体もあります。企業が所有している施設を使用できるようになるといいかと思います。その場合に費用がかかるようなら、その費用を補助で

きるといいかなと思います。

【事務局】そのような状況が何件あるのかは把握できていませんが、今後、状況確認したいと思います。令和5年度から文化活動を含めて商工観光課で担当しています。2500人分の250万円の予算を計上していますが、令和6年度は予算以上の270万円を予算流用して執行しています。そうした状況も含めて、公共施設利用促進・観光振興の面を踏まえて考えていきたいと思います。

【委員】全体を通してしっかりやられていると感じました。うちの職員が「365日大葉を食べる人」としてインスタやテレビで取り上げられています。資料の実績には掲載されていない活動ではありますが、大葉イコール豊川というような、豊川市のPRにつながっていると思います。豊川稲荷で週末の夜に開催しているイベントも集客につながっていると思います。施策1③についてはコロナ禍が収束したので、評価Aでもいいかと思います。豊田市のモネ展・エジプト展のように、文化的な事も観光につながると思います。

【事務局】大葉の関係ではPRしていただきありがとうございます。今回は市の施策を中心に掲載していますが、大葉では大葉フェスなどを開催されていますし、豊川稲荷のイベントは商店街さんが中心だと思いますが、民間の方が中心にやられるイベントも、市としてPR・後援で応援していきたいと思います。文化的な面ですと、桜ヶ丘ミュージアムのほか、三河国分尼寺、大橋屋等あり、教育委員会や文化振興課などと連携しながら、今後、取り組めればと思います。

【委員】豊川稲荷はお客様が増えています。門前テラス縁福が12月に完成し、それに合わせて豊川市で9月から門前通りの道路をきれいにします。そこで、駅周辺にスーツケースを預けるコインロッカーを市で作ってくれるとうれしいです。もう一点、牛の滝のトイレの周りの草が伸びていました。

【事務局】コインロッカーの件は、昨年こちらの会でご意見いただいて、商工観光課でも検討しています。必ず設置できる約束は今の段階ではできませんが、調査検討しておりますので、少々お待ちいただきましてご報告したいと思います。

牛の滝のトイレはアスファルトの上にトイレが設置してあります、状況確認いたします。

【委員】昨年さわやかウォーキングを2回開催しました。次回は秋から新春にかけて計画しています。豊鉄さんもICカードを導入され、私どもも、ICカード対応の駅を13駅新たに拡大しました。豊川市に来られたお客様の周遊促進に微力ながら寄与できたのかと感じています。積極的な情報発信をすることで、これから御開帳に向けて豊川市に来られる方が増えると思いますが、コインロッカーの件については課題に思っています。遠方からのお客様は豊川駅にコインロッカーがないとは思っておらず、ご意見いただくこともあります。何とかならないのかという認識は私どもも持っていますが、管理運営の面でなかなか難しいです。臨時的にでもできればと思います。

【委員】コインロッカーの件は、外国人の方でもスーツケースを持っている方が多いので必要だと思います。気になったのは、資料4の表4について伸び率を考えたときに、今まではツアー客が東京と大阪の中継地点として宿泊していたが、コロナ明け伸びていないとなると、団体よりも個人に移行しているのかと思います。並行してやるべきだと思うのは、資料6で台湾でのPRとありますが、こちらは旅行社向けかと思いますが、個人向けの旅行者が増えるとPR方法が難しいのかと思います。海外の方だとインフルエンサーの方がいるので、そういった方法で海外に向けてのPRに取り組むことで、宿泊客の増加につながるかと思います。

【事務局】コロナ前は中国の団体利用が桁違いに多い状況でした。良くも悪くも豊川市は交通の便が良く、中継地点として利用されている面があります。その方々がどのくらい豊川市を観光していたのかというのはデータとして把握することは難しく、把握できていない状況です。全国的にも中国の方が1番、台湾、韓国と続きます。1回目の日本への旅行で愛知県に来られることは少なく、愛知県がセントレアで行ったアンケート結果では、5回以上日本に来て初めて愛知県に来る方が多くなっています。滞在の平均期間は9日間で、訪問地としては名古屋市が断トツに多く、9日の間に豊川市に寄りたくなるようなPR方法が必要だと感じています。そのアンケートによると、豊川市に来ていただいているのは2%です。今後、豊川稲荷御開帳のPRを行って、誘客に努めていきます。

【委員】私どもは、2年前からいろんな活動を皆様と行っています。3月に東京のアメ横でアンテナショップ催事を行いました。客層はほぼ外国の方で、スーツケースを持った人は皆無です。支払いがキャッシュレスが主でした。その前の8月に金山の総合駅で1か月間催事を行いました。こちらはほぼ日本人です。東京で外国の方に聞いたところ、東京便で来たのではなくて、京都から東京に来て、また大阪に寄って帰るそうです。愛知県に寄る方はほぼいませんでした。豊川稲荷というと東京赤坂の東京別院だと思われる方がほとんどでしたが、豊川稲荷という言葉は知られています。愛知県に本山があるとPRし、岡崎にできるアウトレットというコンテンツも生かして、豊川稲荷に寄ってもらえる取り組みをしたいと思います。

【事務局】情報ありがとうございます。インバウンドの関係は東京から京都・大阪へ行く名古屋飛ばしという言葉も使われていて、北陸新幹線の開通により北陸経由で関西に出るルートができたのも危機の要素として認識しています。インバウンドのPRは市単独では難しく、愛知県や名鉄が沿線自治体と行うCo-machi観光推進会議などと連携しながら、効果的な取り組みを探りながらやっています。豊川稲荷の東京での知名度ですが、赤坂の東京別院を本山だと思っている人も多く、御開帳があるので、東京別院にもご協力いただきながら、一緒にPRしていきたいと思っています。アウトレット岡崎の話は、先日の観光協会総会の講演でほの国東三河観光ビューローの田中様もぜひ取り組むべきだと言っていたので観光協会とも連携して一緒に取り組めればと思います。

【委員】午年開帳、大開帳と続きます。これを機に豊川市をアピールできればと思います。豊川稲荷では外国の方もちょくちょく見かけるが、お参りするわけではないです。宗教的ではなく古き良き景観として来ているのかと思います。せっかく豊

川市まで御開帳を見に来た人に、どうアピールするのが大事だと思います。とよかわブランドを活用して、豊川定食や新幹線の道中の駅弁など、豊川市のつまった駅弁やバラのブーケなどをお土産にできたらいいかなと思います。日本人の方にも外国の方にもアピールできる環境が整うと良いと思います。

【委員】自然環境などバランスが良く、インスタ映えでバズるようにやっていくのがいいと思います。「マイストーリーとよかわ」がいろんなコンテンツを行っているのはとてもいいと思います。無い資源からつくるのは難しいと思いますが、アートや音楽的なところを出していくのはいいと思います。スポーツ施設が多く、使いやすい地域だと思いますし、登山・サイクリングが楽しめる施設を魅力として出せると面白いと思いました。

【委員】いろいろいただいた意見の中で、すぐできるもの、できないものがありますが、インフルエンサーも検討はしています。まずは、英語・多言語に訳して配信できるものを検討したいと思います。御開帳が来年あるので、商談PRに取り組んでいきます。皆様とも連携できればと思っています。

【委員長】皆さんご意見ありがとうございました。